

笠田高等学校

実施日時	令和元年 9月25日(水) 10:00~13:30
参加者	2年生196名 3年生防災リーダー37名 教職員35名 かつらぎ町立笠田小学校児童39名及び引率教員3名 地域住民等8名 計318名
実施内容	搬送法 パーティション組立 マイトイレ作り アルファ米炊き出し・試食

ねらい

- 1、防災意識を高め、自助・共助の精神を涵養し、自分の命を守り、地域防災のリーダーとなる生徒を育成する。
- 2、地域と連携し、実践的な訓練を実施し、災害避難時に役立つ技術を習得する。

主なプログラム

- 1、搬送法講習
- 2、マイトイレづくり
- 3、パーティション組立
- 4、アルファ米炊き出し・試食

概要

1、事前の取組

9月上旬、防災スクールで2年生を指導する3年生防災リーダーを募集した。9月13日(金)放課後、集まった37名を対象に伊都消防組合消防本部職員を講師に招き、搬送法講習を行った。搬送法講習は、毛布と棒を使った搬送法(①応急担架の作り方、②応急担架による搬送法、③毛布のみを使った搬送)、徒手による搬送(④5人以上の場合、⑤2人バージョン-前後、⑥2人バージョン-左右、⑦1人バージョン-徒手のみ、⑧1人バージョン-毛布使用)について講習を受けた。

その後、パーティション組立、マイトイレ

作りを昨年の経験をもとに相互で復習した。

2時間をこえる講習となったが、参加した3年生はよく取り組んでいた。

2、搬送法講習

はじめに傷病者に不安を与えないために足の方を進行方向にすることを確認した。また、事故防止のため搬送される者は準備したヘルメットを着用するよう全体説明で徹底をした。毛布と棒を使い、応急担架を作る訓練を行った。

また、毛布だけの場合や一切道具を使わず徒手のみで搬送する場合など、順次役割を交代しながら訓練を行った。

3、マイトイレづくり

各班に防災リーダー3名がついて説明を行った。ほとんどの参加者は素早く仕



上げることができた。最後に、ペットボトルの水を作ったマイトイレに注ぎ、水分のしみこみ具合を確認した。

4、パーティション組立

約20人1組になり、1区画を目安に組み立てた。大きな段ボールの扱いに苦労しながら、お互い協力して全部の



ブロックを繋げて完成したクラスもあった。かつらぎ町立笠田小学校4年生39名も本校生徒とともにパーティション組立に取り組んだ。生徒たちは実際にできあがった部屋に交代で入ってみて、災害時の避難所でのプライバシー確保に役立つことを認識した。

5、アルファ米炊き出し・試食

防災リーダーが中心となり、手洗いの徹底やマスク・手袋を使用するなど衛生管理に十分注意し、常温の水でアルファ米を戻した。

その後、パック詰めを行いクラスごとに段ボールに詰めて配付し試食した。

参加者感想文

- 今日の防災スクールで訓練の大切さがわかりました。

最初にパーティションの組立・撤収をしました。大きめの段ボールなので運ぶのが少し大変でした。組み立てるとき、協力してやらないとダブルクリップを上下に上手く止めることができないし、怪我をすと思いました。また、クリップはできるだけ内側につける方が良いと思いました。

次に、搬送法ですが、毛布や棒は必需品で、救助するときは、負傷者のことを考えながら慎重に運ばないといけないと思いました。

最後に、マイトレですが、水を入れても耐久性があってすごいと思いました。お昼にはアルファ米を食べましたが、普通のご飯と変わらないと思いました。

この訓練で、協力することの大切さと防災に対する知識を学びました。今日のことを災害で避難した時に活かしたいです。

- クラスが2班に分かれて、3年生の防災リーダーが中心になり、搬送の仕方を教えてくれました。いろいろな患者の運び方があり、楽に運べる方法や力が必要な運び方までたくさんあり

ました。でも、毛布や木の棒がある方が便利だと思いました。

次に、パーティションの組み立て方を教わりました。パーティションというのは、避難所などでみられる避難している人が住むための部屋みたいなものです。個人のプライバシーを守るためのものだと知って勉強になりました。

もし災害が起きれば、防災スクールで学んだことを生かしたいと思います。

成果と課題

【成果】

3年生防災リーダーは、防災スクールの趣旨をよく理解し、当日はよく頑張り役割を果たした。講習ごとの説明用のテキストは準備したが、防災リーダーは、説明方法を各自が工夫しながら自分の言葉で分かりやすく説明していた。

また、地域住民の方々、地域の小学生と交流を持つことができたことも大きな収穫であった。

講習内容は6年間ほぼ同じ内容であるが、笠田東1区長の協力で、地域住民の方々に参加していただいた。今後とも地域住民やPTAの方々に参加を呼びかけ、連携し、より多くの方々の防災意識を高めていきたいと考えている。

また、かつらぎ町立笠田小学校4年生39名がパーティション組立に参加してくれたことは、地域連携の大きな成果であり、来年度以降も呼びかけていきたいと考えている。

【課題】

地域住民の方々に協力していただいているが、もっと多くの方々に参加していただけるような取組に工夫したい。